

美術科 9年生 題材名『重なり合うイメージで自己を表す』 授業実践・授業研修	
日時	10月25日(金)5時間目
授業者	多田野 舞
本時のねらい	自分や他者の人柄・価値観などの内面や「自分らしさ」を主題として、それぞれの「自分らしさ」に合った具象モチーフや形・色のイメージについて考えたことや感じたことを交流しながら、アイデアの交流や対話を通して気づいたことや思ったことなども参考にして、試行錯誤しながら表現することができる。
単元・題材計画	第1次 具象モチーフや形・色のイメージを考えるグループ交流による表現活動……1時間(本時) 第2次 自己を表すモチーフ(具象表現)、自己を表す形や色(抽象表現)、構成……3時間 第3次 表現内容や過程に対する受容と共感を介した自己の承認を伴う鑑賞活動……1時間
授業の実際 (本時の流れ)	授業冒頭では、光輝の授業で触れた「自尊心」や「リフレーミング」に関わる内容を関連づけながら、「自分らしさ」について全体や個人、グループで再考した。また、具体的な複数のモチーフや形・色について、班で対象の特徴や特性等を踏まえたイメージや表現の効果について話し合い、全体で交流することで意見やアイデアを共有した。そして、モチーフや形・色を工夫して「自分らしさ」を表すことを学習課題として設定し、授業の後半においては、ペアやグループで交流しながら、お互いの「自分らしさ」に合うモチーフは何なのか、形や色で表すと何が適するのかということについて悩み、対話しながら表現活動に臨んでいた。
事後協議の概要	「自分らしさ」を表現して他者に見せることはハードルがあり、とりわけ「自分らしさ」に向き合うことは苦しさを伴うものである。しかし、交流場面では班内で自分事のようにお互いの「自分らしさ」の表現に悩み、粘り強く考えて自分なりに表そうとする子供の姿が見られた。一方で、モチーフや形による表現の発想に難しさを感じている複数の生徒も見られたため、スモールステップに留意した手立てを講じる必要がある。

